

事業計画書

事業名	2019ながの発達障がい啓発週間「結」プロジェクトin佐久「みんなの学校」上映会 &パネルディスカッション「障がいのある子と学校の未来予想図」
実施箇所	佐久市(佐久市市民創練センター)
実施期間	事業開始予定年月日 2019年 4月 7日
	事業終了予定年月日 2019年 4月 7日
事業概要	<p><事業の目的及び達成目標> 毎年4月2日は、国連が定める「世界自閉症啓発デー」です。ASD（自閉症スペクトラム症候群）や発達障がい、アスペルガー症候群、ADHDなど様々な言葉が多くの方に知られるようになりました。しかし、理解、支援が行き届くとは言えないのが現状です。当事者の子供たち、親は辛い思いや、将来への不安を抱えて生きています。平成20年度に世界自閉症啓発デー・日本実行委員会が毎年4月2日から8日を発達障害啓発週間とすることを決定し、全国各地でこの時期に発達障害について、広く啓発する活動が行われています。長野県では日本発達障害ネットワークながの（JDDnetながの）が、「結」プロジェクトという形で啓発活動を展開しています。県内各所で発達障害に関わる様々な団体が啓発イベントを行っています。佐久では私たちおむすびの会で毎年啓発イベントを行っています。今年はより多くの方たちに発達障害のことを知ってもらい、障がいの有無に関係なく多様性の社会の実現を目指します。</p>
	<p><事業の内容> 「みんなの学校」上映会&パネルディスカッション ◎内容 大空小学校には支援クラスがありません。みんなが同じ教室で学びます。貧困、虐待、発達障害、知的障害、不登校と様々な生き辛さを抱えた子どもたちが、地域のボランティアの人たちに見守れながら、学校に地域に居場所を見つけてたくましく生きていきます。また同じ教室で学ぶ他の子どもたちも彼らから沢山ことを学んでいきます。各々が認めあう関係性が自然と生まれいるのです。これはまさに多様性を認め合う社会のモデルケースのヒントがこの映画に詰まっています。 ◎日時 2019年4月7日 日曜日 午後1時30分から上映 午後3時30分からパネルディスカッション（福祉関係者、教育関係者、保護者がパネラーとして、映画の感想、未来の学校の理想を語ります） ◎場所 佐久市市民創練センター 大会議室 ◎対象地域 佐久圏域にお住いの全ての市民 ◎ポスターは小中学校、病院に配布します。</p>
	<p><アピールポイント>最近では、コミュニティスクールと言って各学校が地域の方たちに学校に来てもらい様々な取り組みをするようになってきました。（下校時の見守りや郷土料理を一緒に作ったり、農業のアドバイス）学校が変われば、地域が変わり、そして社会が変わっていく期待がそこにはあります。まだどこも取り組み期間が短いのですが、この映画の大阪の大空小学校は、早くからこの取り組みを行ってきました。様々な生き辛さを抱えた子どもたちが、みな同じ教室で学びます。教員、保護者、地域の人と一緒に誰かが通い続けることができる学校を作り上げてきました。この映画から日々生まれ変わるように育っていく子供たちの奇跡の瞬間、共に歩む教員、保護者の苦悩、戸惑い、喜びがありのまま映っています。地域で学校で何ができるのかを考えるヒントが満載です。</p>

年間計画	4月	映画上映&パネルディスカッション
	5月	
	6月	
	7月	
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
	12月	
	1月	
	2月	
	3月	
活動すること で期待される 地域や社会への 具体的な効果・ 成果 (事業の対象者・ 参加予定人数も 記載)	<p><「公益性」の視点> 映画上映、パネルディスカッションを通して、まずは障がいがある子への理解が期待されます。きっと自分の子ども、または孫と何ら変わりがない子どもたちだとわかると思います。地域に暮らす障がいのある子どもたちが、生れ育った街で笑顔で生きることができるなら、誰でもが住みやすい地域になると考えられます。佐久市に住む全ての人たちに見てもらいたいと思います。参加予定人数は30人以上を目指しています。</p>	

<p>活動を継続するための取組や考え方 (資金面、人材等)</p>	<p><「自立性」の視点> おむすびの会員から年間費を1000円頂いています。5月、6月、7月まで学習会の予定があり、講師の謝礼金、チラシなどを考えると、全額このイベントにお金を使うことができないので、支援金を利用していきたいと思います。学習会やイベントなどを通して、おむすびの会を広く知ってもらうことで、会員の数も増えることが見込まれる。奇数月の第1土曜日に語りの会を開催しています。4人から5人のグループに分かれて、先輩保護者、専門家、ファシリテーターを交えて、今困っていることや悩みなどを自由に話してもらい、先輩保護者さんたちから経験談を話してもらい、少しでも明るい気持ちになって、また子供と向き合える語りの会にしています。学習会は偶数月に今知りたい情報や制度などを専門家をお招きして学習しています。ワーキングメモリー、LD、就学、就労、年金、性の問題など、多岐にわたる学習会を開催しています。保護者の方たちにより多くの情報を発信し、子育てに役立ててもらいたいと考えています。</p>
<p>翌年度以降の活動内容概要</p>	<p>発達障害啓発週間は毎年あるので、講演会、イベントを継続して開催したいと考えています。また5月に語りの会、6月に学習会(漢字を覚える方法)、7月には総会&特別記念講演会で、信州大学こころのクリニックの本田先生をお招きし講演会を開催します。8月の学習会は障害年金についてを予定しています。9月、11月は語りの会を予定しています。</p>
<p>事業の最終目標</p>	<p>発達障害への理解と多様な社会の実現するために、映画の上映、語りの会、学習会を継続して続けていくことで、多くの方々に知ってもらい、みんな違ってみんないいと心から言える日がくることが目標です。生れ育った街で笑顔で、そして地域の一員として生きていけることができる社会を目指します。</p>